



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-752-0453 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶



市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp

第412号

2019年7月1日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

再度、阿蘇小学校の存続を訴えます！

「地域コミュニティの中核である小学校を残したい」との思いで立ち上がった阿蘇地域の人たちは、服部市長に対し、市長との懇談会開催を求め申し入れました。

八千代市教育委員会は、阿蘇・米本地域の小中学校を対象に統廃合の計画を策定、当初は、阿蘇・米本地域の小学校3校を米本南小学校に統廃合する計画でした。

その後、施設一体型の小中一貫校（義務教育学校）を阿蘇中に設置すると、方針転換を図ったのです。今年なって、またまた方針を変え、分離型の小中一貫校を押しつけてきました。

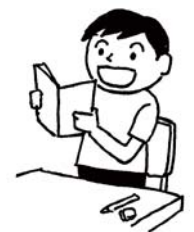
教育委員会は公共施設再編を進めるために、「子ども達によりよい教育環境を提供する」という「新しい理念」をうたい、方針推進のための方便としました。しかし、地域住民は理解・納得していません。

教育委員会の姿勢こそ大問題

公共施設再編は総務省や財務省が中心に進めていますが、文科省は何か何でも小規模校をなくすというスタンスではありません。小規模校を存続させ、統廃合しない場合として、「学校を地域コミュニティの存続や発展の中核的な施設と位置付け、地域を挙げてその充実を図ることを希望する場合は小規模校を存続することを認めているのです。

6月議会で教育委員会は、このことを認識していると答弁しました。しかし、教育委員会は一年間も地域の人たちと話し合いもせず、「財源が確保できない」と施設一体型から、小学校3校を統合し阿蘇中学校との分離型の小中一貫校づくりを押しつけてきました。

また、これまで「答申の中身は小中一貫校（義務教育学校）をつくることだ」と強引に主張してきたが、この5年間、方針を二転三転させ、子ども達や保護者、地域住民に混乱と不安をもたらしている教育委員会の姿勢こそ大問題です。



地域の小学校を存続させることが最良の方針

平成27年10月、学校適正配置検討委員会が「答申」を出してから阿蘇地域の人たちは「145年以上の歴史と伝統がある阿蘇小学校をなくしてはならない」と当初から反対の署名活動をしてきました。また、阿蘇小学校は児童数の増で複数学級になる見込みなので、教育委員会が言う単学級ではなくなります。

住民の運動とたたかいで米本団地に小学校を残すことができましたが、団地に小学校を残すとともに、阿蘇地域に阿蘇小学校を残すことが子どもや地域の人々が納得できる最良の方針です。

学校は地域の宝であり、コミュニティの中心です。阿蘇の地域の学校を守るために日本共産党は皆さんと力を合わせて頑張ります。